

# つばた

議会だより

No.137

2016.4.5

- 3月会議**  
**種保育園跡地に防災拠点を新設** 2P  
**クローズアップ** マンホールトイレを整備 4P  
**委員会審議** 結婚推進員に報奨金を 6P  
**いっばん質問** 外出支援事業の対象拡大をなど 11人が登壇 11P

春が来たよ♪

(寺尾保育園)



防災・安全対策を充実

種保育園跡地に

防災拠点を新設

4946万円計上

3月会議を4日から14日までの会議期間で開催した。初日に平成28年度一般会計・特別会計・事業会計予算、27年度補正、条例の制定・改正など42件の議案が提出され、7日に町政全般について11人が一般質問を行った。議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決し、請願3件、陳情1件を採択、請願6件を不採択、意見書6件を可決した。続いて、教育委員会教育長の任命、河合谷財産区管理委員の選任について同意した。

施政方針

町

長は施政方針で「当然に行うべき現状の福祉施策

などの行政サービスを確実に実行し、かつ前進させること、現状の行政サービスと並行して私たちの孫・その子の時代に夢と希望が持てるような施策を剛毅果断に着手することを基本に、引き続き具体的な施策を展開していきたい」と所信を表明した。

平

成28年度の一般会計と8特別会計、3事業会計を合わせた当初予算総額が254億2916万円に決定した。

このうち一般会計は126億3600万円で、前年度当初比1・9%減となった。本年度は、体験型観光交流公園の幹線道路となる町道竹橋大坪線の改良事業や津幡小・萩野台小学校区の放課後児童クラブ施設の整備、種保育園跡地に防災拠点を新設する。

# 平成28年度予算成立

## 一般会計 前年度比1.9%減 126億3600万円を可決

(賛成14人 反対1人)

### ●特別会計●

会計	予算	前年度比%
国民健康保険	37億5834万円	▲2.4
直営診療所事業 (河合谷診療所)	366万円	6.3
後期高齢者医療	3億1109万円	2.5
介護保険	24億6035万円	▲2.8
簡易水道事業	625万円	1.3
バス事業	1億874万円	27.5
ケーブルテレビ事業	4462万円	▲3.6
河合谷財産区	35万円	2.0
計	66億9344万円	▲2.0

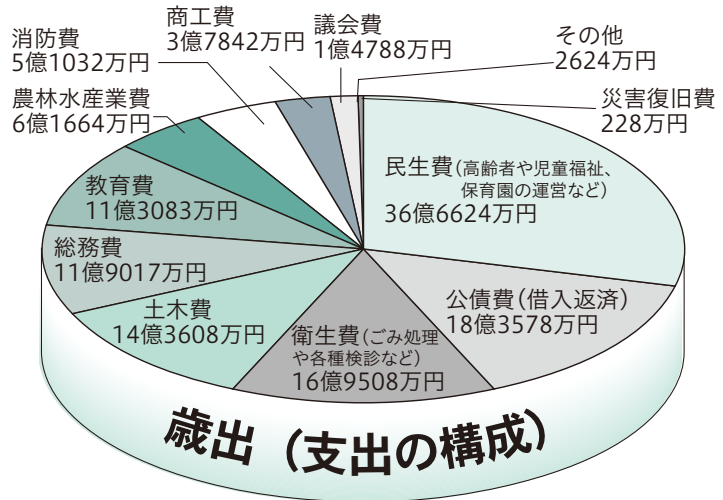
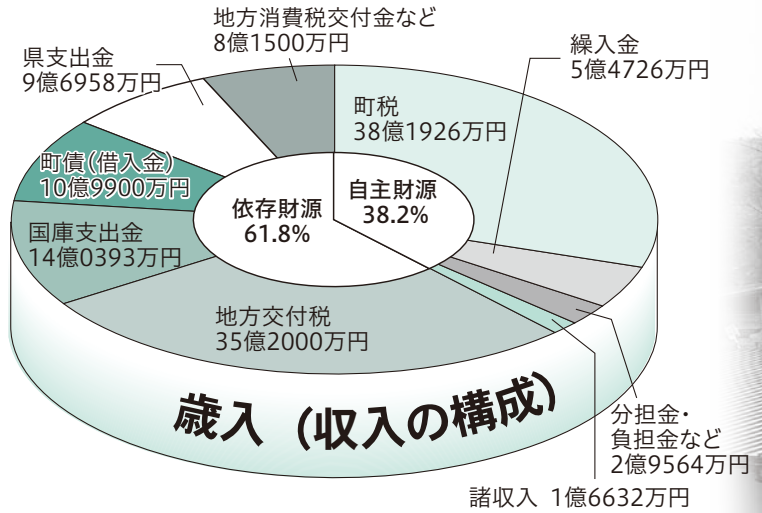
(全員賛成)

### ●事業会計●

会計	予算	前年度比%
河北中央病院	収益的収支	12億5675万円 6.5
	資本的収支	2億3900万円 46.8
水道	収益的収支	7億9878万円 ▲2.0
	資本的収支	2億9713万円 6.4
下水道	収益的収支	15億8103万円 ▲7.2
	資本的収支	19億2701万円 8.0
計	60億9972万円	3.0

(全員賛成)

※事業会計は支出額を計上



**賛成**

緊急度の高い事業の取り組み、福祉関係の充実などメリハリがある。経費の抑制、効率化も図られている。必要度に応じた予算内容であり、町民が期待するものである。

八十嶋孝司議員

**反対**

安保関連法により任務の危険性が現実のものとなる自衛官の募集、必要性・緊急性のない庄瀬線の道路工事、将来の見通しも立たない体験型観光交流公園へのアクセス道路整備などをするべきではない。

塩谷 道子議員

## 平成28年度一般会計

**種**


保育園跡地に整備する防災拠点施設は、平屋建て、延べ床面積約200㎡を予定している。災害時の避難先としての機能を持ち、普段は防災学習施設として、また救護訓練、炊き出し訓練などを実践する場となるとともに、備蓄倉庫などとして利用する。



# こんなことに使われます クローズアップ



平成28年度、新たに行われる事業など、一部を紹介します。



夏季の学習環境の改善を図るため、町内の全小中学校に扇風機を設置する。

**小中学校に  
扇風機を設置**

**353万円**

災害時に避難所となる小中学校9校に、下水道接続型のマンホールトイレ各10基を順次整備する。

**避難所の機能強化へ  
マンホールトイレを整備**

**2000万円**

**Q** 平成28年度の工事計画は。  
**A** 井上・条南の2小学校を対象とする。



▲仮設トイレ用のマンホール（魚沼市）



大河ドラマ誘致実現を見据え、大型バスの乗り入れを可能にするため、公園内駐車場および園内の再整備を行う。

**俱利伽羅公園  
園内・駐車場を整備**

**2392万円**

## 第5次津幡町総合計画 基本構想を策定

本計画では、町民が豊かな自然環境の中で地域の絆による支え合いを大切にするとともに、当町に関するすべての人が「住んでみたい」「ずっと住みたい」と心から思える町を目指す。



▲ずっと住みたい町を

**基本目標**

- 快適で安全・安心を実感できるまち
- 地域の魅力を磨き交流と活力が生まれるまち
- 笑顔があふれ誰もが元気に暮らせるまち
- 未来を見つめみんな学び成長するまち
- ともに支え絆を深めるまち

**反対**

第5次町総合計画基本構想の中には、体験型観光交流公園も含まれている。町民の多くが必要性を認めていない事業であり、反対する。

塩谷 道子議員

（賛成14人・反対1人）

## IRいしかわ鉄道 ICカード設備導入に補助

# 1590万円

IRいしかわ鉄道俱利伽羅―金沢間にICカード「ICCOCA（イコカ）」対応の自動改札機などの設置により、利用者の利便性向上を図る。

ICカードを持つことでJR路線、都市の地下鉄、コンビニなど、多くの利用価値が高まる。

**Q** 利用開始日は。

**A** 平成29年4月末を予定している。

※ICCOCA

切符の機能をICカードにプラスしたカード。チャージ（入金）しておくことで、改札機にタッチするだけで乗車区間の運賃を自動的に精算することができる。



## 放課後児童クラブ2施設を整備

# 3382万円



萩野台コミュニティプラザ

津幡小学校区にある放課後児童クラブ「つばたっ子ピース」は民家を借用しているが、入所児童の増加も伴い、新築する。また、萩野台小学校区で新たに放課後児童クラブを開設するため、萩野台コミュニティプラザを改修する。

## 役場庁舎・シグナスに 防犯カメラを設置

# 500万円

盗難、不審物配置など犯罪の抑止、安心利用の目的から役場庁舎内3か所、文化会館シグナス5か所に防犯カメラを設置し、セキュリティの強化を図る。

設置に当たり要綱を策定し、画像管理、プライバシー保護に努める。

## 人事

教育委員会教育長

(平成28年4月1日～  
31年3月31日)

河合谷財産区管理委員

(平成28年3月19日～  
32年3月18日)

吉田 克也氏

(加賀爪)  
新任



(全員賛成)

川上 勝男氏 (下河合) 新任

大澤 松夫氏 (上河合) 再任

藤澤 欽一氏 (瓜生) 再任

永多 憲二氏 (牛首) 新任

谷下 紀義氏 (牛首) 再任

(全員賛成)

## 27年度一般会計補正予算

2億7689万円を追加  
(全員賛成)  
総額136億2040万円に

27年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億7689万円を増額し、総額136億2040万円とした。

緊急に必要な費用のほか、事業費、負担金などの確定による増減調整が主なものである。

8特別会計、1事業会計も全員賛成で補正予算を可決した。

# 委員会 審議

## 総務

### 定住促進事業

### 結婚推進員に報奨金を

-企画財政課-



▲お幸せに♡

**Q** 推進員の仕事内容は、結婚を考えている独身男女からの相談に応じ、相手を紹介する。

**A** 報奨金の内容は、推進員の活動は基本的にはボランティアだが、成婚1件につき奨励金3万円を交付する。平成27年度は2件の交付があった。

### 連携中枢都市圏形成

### 金沢市と連携協約を締結

-企画財政課-



**Q** 今後の予定は、3月中に連携協約を締結し、4月1日からスタートする。まずは小児科初期救急の広域連携事業の実施に向けた協議を進める。

**A** 広域で実施するメリットは、従来実施していなかった夜間一次救急を手が

けることができ、住民サービスの向上や子育て支援の強化となる。

※連携中枢都市圏構想

人口20万人以上の「連携中枢都市」と近隣市町村が、連携協約を結ぶことにより広域連合などの別組織を設置することなく柔軟な連携を可能とする、新たな広域連携の制度。

## 文教福祉

### 新たに

### 教育センター長を配置

-学校教育課-



▲機能の強化に期待

**Q** 新たな配置がなぜ必要か。

**A** 現在、学校教育課長が兼務しているが、学校における教育指導や学習支援活動、いじめや不登校対策など、サポート体制をより充実させ、センター機能の強化を図る。

**Q** センター長にはどのような方を考えているのか。

**A** 教育現場に精通し、専門的な識見のある方を考えている。





町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

### 総務（総務・財政・税務・議会・監査・消防など）

◎荒井 克◎角井外喜雄 西村 稔 塩谷道子 向 正則 河上孝夫

### 文教福祉（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎八十嶋孝司◎道下政博 竹内竜也 酒井義光 洲崎正昭

### 産業建設（土木・農林・労働・商工・上下水道）

◎森山時夫◎谷口正一 森川 章 井上新太郎 多賀吉一  
(◎委員長 ○副委員長)

# 産業建設

## 地域の介護予防事業を 社会福祉協議会に委託

-長寿介護課-

**Q** 委託の目的は。

**A** 地域が主体となつて行う介護予防委託料を社会福祉協議会に集約し、地域にある介護組織に予算の配分を行い、育成支援する。

**Q** いきいきサロンで必要な資金も調達可能か。

**A** 介護予防の視点から可能である。

**Q** 現有の人員で事業を進められるのか。

**A** 必要に応じて社会福祉課、地域包括支援センターと協力していく。

◀田んぼ集積による  
担い手確保



## ほっと石川観光プラン

### 推進ファンドに参加

-交流経済課-

**Q** 町独自で事業展開できるのか。

**A** 河北エリアのかほく市、内灘町と当町で連携した組織のもと、広域エリアの魅力づくり、観光客誘致策を展開する。

※ほっと石川観光プラン  
推進ファンド

5年間の観光施策の財源として、県観光連盟のもと、県、自治体、民間が一体でファンドを造成し、その運用益で観光事業を推進する。

## 機構集積協力金

### 27年度交付金を増額

-農林振興課-

**Q** 事業の目的は。

**A** 農地中間管理機構に対し、農地を貸し付けた地域、個人に農地集積、集約化を促進させる。

**Q** 機構への農地貸付条件は。

**A** 10年以上の期間貸付で、地域の担い手に貸し付けられることである。

**Q** 事業の内訳は。

**A** 地域集積協力金、経営転換協力金、耕作者集積協力金の3種類で成り立っている。

**Q** 27年度の交付総額は。

**A** 3種類合わせて513万5千円となった。



▲進む地域の介護予防

# 陳情1件を審査

採択

軽減税率の円滑な導入に向け  
事業者支援の強化などを求め  
る

◎請願者

公明党津幡支部津幡地区員

池田 邦三

紹介議員

道下 政博

(賛成10人・反対5人)

採択

複数税率による軽減税率の導  
入実現を求める

◎請願者

公明党津幡支部津幡地区委員

高谷 芳明

紹介議員

道下 政博

(賛成11人・反対4人)

採択

TPPの影響に関する国民の  
不安を払拭し、対策の確実な  
実行を求める

◎請願者

公明党津幡支部津幡地区員

池田 邦三

紹介議員

道下 政博

(賛成12人・反対3人)

反対

TPPは24分野にわたつての協定であり、各国の法  
律や政策がTPPに合致しているかチェックされ、問  
題だとされれば変更を求める圧力にさらされる。

塩谷 道子 議員

採択

軽度外傷性脳損傷・脳しんと  
うの周知と予防、その危険性  
や予後の相談の出来る窓口な  
どの設置を求める

◎陳情者

軽度外傷性脳損傷仲間の会代表

藤本久美子

(全員賛成)

反対

消費税は低所得者への負担が大きく、軽減税率を導  
入しても変わらない。8%への増税でも国民の負担は  
大きく景気が低迷した。10%にすれば景気への影響は  
さらに増す。

塩谷 道子 議員

反対

購買力のある高所得者ほど恩恵を受け、本来の目的  
である低所得者対策、逆進性の緩和にはつながらない  
事業者には区分経理などの事務処理コストが増えるだ  
けだ。

竹内 竜也 議員

賛成

消費税の逆進性緩和策として給付付き税額控除との  
総合合算制度とすることは、国民の所得資産を正確に  
把握することが困難であり、机上の空論だ。事業者負  
担には支援策が必要だ。

道下 政博 議員

採択された4件の請願と陳情は  
意見書を内閣総理大臣ほか  
関係機関に送付しました



## 不採択となった請願

### 「マイナンバー制度」の廃止を含めた抜本的見直しを求める

◎請願者 幸福実現党津幡支部

副支部長 喜多 善則  
紹介議員 井上新太郎  
(賛成2人・反対13人)

賛成

共通番号制から分野別番号制へ移行した先進国の反省を踏まえ、さらなるマイナンバーひも付け法案の可決断固反対と、制度そのものの見直しを求める。

井上新太郎 議員

反対

個人情報やマイナンバーで管理することは行政のスリム化、脱税や不正受給の防止など利便性が高まる。情報漏えいについても分散管理や顔写真付きカードなど法律で厳格に管理される。

角井外喜雄 議員

### TPP協定を国会で批准しないことを求める

◎請願者 農民運動石川県連合会

会長 宮岸 美則  
紹介議員 塩谷 道子  
(賛成1人・反対14人)

反対

TPPが発効することによって、日本の農林水産業分野では輸出の競争力強化が必要となるが、対策も打ち出している。TPPは攻めの農林水産業への後押しとなり、次世代に希望を持たせる。

森川 章 議員

### 憲法違反の安全保障関連2法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）の廃止を求める

◎請願者 石川憲法会議

代表者 東 孝二  
紹介議員 竹内 竜也  
塩谷 道子  
(賛成2人・反対13人)

賛成

秘密保護法の制定や憲法9条の解釈を180度変えた上で安保関連2法を強行採決した。憲法に違反した法律は98条により認められない。

塩谷 道子 議員

賛成

憲法が集団的自衛権を想定していると解釈するには無理がある。曲解した解釈によって想定されていないものを容認することは不可能であり、廃止すべきだ。

竹内 竜也 議員

反対

安全保障環境が厳しさを増す中、外交努力で防げるものは徹底して防ぐとともに、想定し得るあらゆる事態に備え、国際貢献のあり方についても考えるべきである。

角井外喜雄 議員

反対

法を整備し、国際社会の一員として諸外国の当該活動に協力支援活動を行うことで、平和と安全の確保に資する。国の存立を全うし、国民の命と平和な暮らしを守り抜くことが必要である。

荒井 克 議員

反対

日本を守っている外国軍隊が攻撃された際、自衛隊がその軍隊を守ることを厳しい条件下で認めたものである。備えを万全にして容易に軍事力に頼らず、対話による解決の流れを促すものである。

道下 政博 議員

## 「消費税10%増税中止の意見書」採択を求める

◎請願者 消費税廃止石川県各界連絡会

代表者 加藤 忠男  
紹介議員 塩谷 道子  
(賛成3人・反対12人)

社会保険給付費は2010年度に100兆円を突破した。多くの国民は社会保障制度の持続可能な制度設計を望んでおり、公約した政策の実現を求めている。

角井外喜雄 議員

**反対**

消費税増税に賛成35%、反対56%の世論調査結果とあるが、内容が不確定である。この請願はこじつけが多く、反対である。

荒井 克 議員

## 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める

◎請願者 石川県医療労働組合連合会

執行委員長 東 幸枝  
紹介議員 塩谷 道子  
(賛成1人・反対14人)

### 委員会の主な意見

医療現場で働く人たちの勤務環境を少しでもよくしたいという思いは共有できるが、各自自治体で改善を図るための支援センター設置も進む状況にあり、財源確保の問題もある。

## 夜間中学の整備と拡充を求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡地区委員

高谷 芳明  
紹介議員 道下 政博  
(賛成3人・反対12人)

### 委員会の主な意見

年齢や国籍、義務教育未修了者や在留資格を持つ外国人等、特定される文言が多くある。これらを削除し、居住地に関係なく希望する誰もが学べる夜間中学を促進すべきである。

## 文教福祉常任委員会発議で

## 意見書を国に提出

## 安全・安心の医療・介護実現のため医療従事者の増員と労働環境の改善を求める意見書

安全・安心の医療・介護を実現するために、医師、看護師、介護職員の増員、労働環境の改善を図る対策を講じられるよう、左記の事項について強く要望する。

記

- 1 看護師など夜勤交替制労働者の深夜労働時間の短縮や十分な勤務間隔を保持するなど、労働環境を改善すること。
- 2 医師、看護師、介護職員などを増員すること。
- 3 安定的な財源を確保した上で、安全・安心の医療・介護を実現すること。

(全員賛成)

## 夜間中学の整備促進と就学機会の拡充を求める意見書

希望者の夜間中学への就学の機会を居住地等に関係なく提供するため、左記の事項について迅速に対応するよう強く要望する。

記

- 1 全都道府県において、居住地に関係なく希望する誰もが学べる夜間中学の設置を促進すること。
- 2 入学希望者が、夜間中学に関する情報を入手できるよう配慮した広報活動の展開や低所得者に対する支援策を強化すること。
- 3 夜間中学における日本語教育のため、教員の加配を含めた専門家の配置に国と都道府県が連携して財政支援を行うこと。

(全員賛成)



# ズバリ

# 町政を問う

## 11人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。

- 1 塩谷 道子 議員……………12
  - ・85歳以上を外出支援事業の適用対象とせよ
  - ・アクセス道路整備費用は子育て支援に使い ほか2問
- 2 西村 稔 議員……………13
  - ・災害への備えは万全か
  - ・公契約条例制定の考えはあるか ほか3問
- 3 森川 章 議員……………14
  - ・地域のマンパワーを活用せよ
  - ・体験型観光交流公園による交流人口の見込みは ほか1問
- 4 森山 時夫 議員……………15
  - ・外出弱者のニーズに応えよ
  - ・つばたReco利用者、車の安全対策を図れ ほか1問
- 5 酒井 義光 議員……………16
  - ・町道庄能瀬線、菩提寺1号線を早期に開通させ有効活用を
  - ・標高を明記した防災地図の作成を推進せよ
- 6 井上新太郎 議員……………17
  - ・過疎化が激しい山間地に町営住宅の建設を
  - ・町民参加による大河ドラマ誘致を推進せよ
- 7 角井外喜雄 議員……………18
  - ・介護保険事業の進展を図れ
  - ・新たな道の駅を開設せよ
- 8 荒井 克 議員……………19
  - ・津幡丘陵公園の整備計画は
  - ・第5次町総合計画に町民アンケート結果を生かせ ほか1問
- 9 八十嶋孝司 議員……………20
  - ・小型無人飛行機ドローンの導入を
  - ・災害対策用蓄電池を検討せよ
- 10 竹内 竜也 議員……………21
  - ・全国学力テストの事前対策が行われているのでは
  - ・障害者差別解消法施行に伴う職員対応要領を策定せよ
- 11 道下 政博 議員……………22
  - ・街中と観光拠点に公衆無線LAN (Wi-Fi) を設置せよ
  - ・個別事業のフルコスト情報開示を ほか3問

### 議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀  
(本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く)
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

# ん質問



塩谷道子 議員

## 85歳以上を 適用対象とせよ

身体状態で判断している

### 外出支援

塩谷 議員

高齢者は、歩行困難など、健康上の問題を抱えていることが多くなるため、外出にも困難が生じている。  
健康状態を維持するためには、外出によって人と接触する機会を増やす必要がある。  
85歳以上であれば、介護認定の有無を問わず、障害者等外出支援事業の対象とせよ。



外出の支援を

岡田 町民福祉部長

外出支援を要するか否かは、公平性の観点から年齢ではなく、身体状態の一定基準による判断が必要と考えている。  
現在は、在宅で要支援1以上の方を対象としているが、今後の社会情勢などを勘案しながら検討したい。

## アクセス道路

整備費用は

子育て支援策に使え

福祉・社会保障の

圧迫にはならない

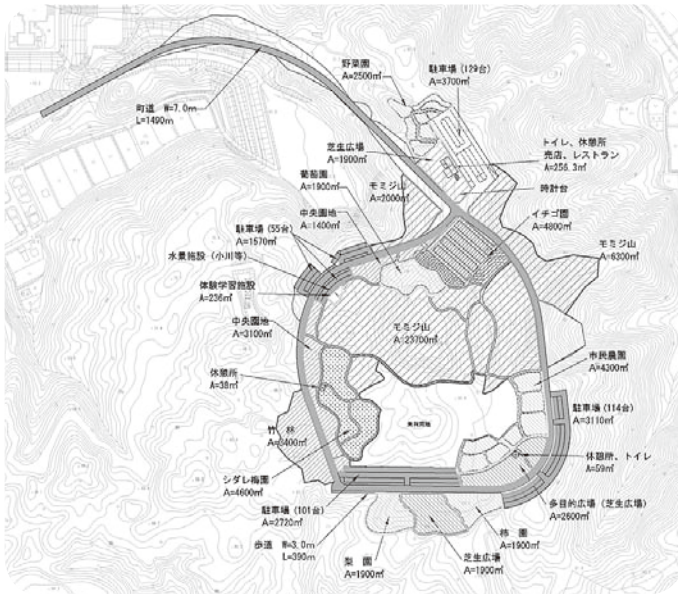
塩谷 議員

体験型観光交流公園は、着手する。全体事業に17年間で20億円の税金が投入される見通しであり、平成28年度はアクセス道路の整備に使うべきだ。

矢田 町長

県との協議によって財源の見直しを行い、道路事業の道整備交付金の活用が可能となった結果、まずはアクセス道路の整備を図ることとした。

福祉や社会保障を圧迫する財政負担にはならないと考えており、また他の整備でも有利な財源を利用し、魅力ある公園となるよう努力したい。



▲体験型観光交流公園計画図

### その他の質問

Q 要支援者の介護保険サービスの利用は。

A 町が委託した介護事業所が行うため、現在と変わらない。

Q 新入学用品費を3月中に支給せよ。

A 保護者からの要望が高まれば検討したい。





西村 稔 議員

# ズバリ 町政を問う

# いっば

## 危機管理

災害への備えは万全か

安全・安心のため

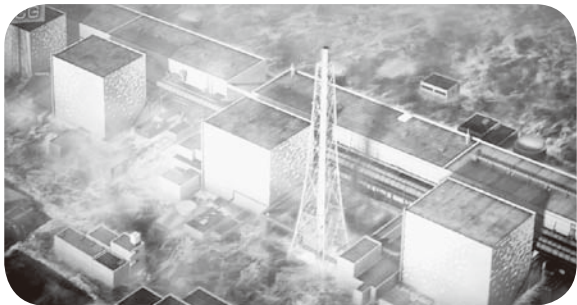
防災力強化に努めたい

西村 議員

地震・津波などの自然災害、原油安に端を発する大恐慌、少子高齢化、社会保障の崩壊、核の脅威に対し、町としての備えは万全か。

矢田 町長

大恐慌については、各国の経済政策等が関係するため、国の政策を注視しながら、日々の生活や将来に希望が持てるまちづくりを進めたい。また、少子高齢化対策は、平成28年度予算でさらに充実した内容としている。核の脅威は外交・防衛に関わるもので国が取り組むべき課題であり、当町では特別な対策はない。今後も、安全・安心のため、防災力強化に努めたい。



▶想定外に備えよ

## 制定の考えはあるか

### 公契約条例

現在のところ  
考えていない

西村 議員

災害時に、迅速かつ効果的なインフラ整備を図るため、公契約条例を制定する考えはあるか。

矢田 町長

自治体発注の建設工事や委託業務などに従事する労働者の賃金について、下限額を設定するための条例であり、災害時のインフラ整備とは直接の関連性がないものと考えている。当町では、最低制限価格の設定などに迅速な対応をしており、現在のところ条例制定は考えていない。



▲建設工事現場

### その他の質問

- Q** 地方創生の取り組みは。
- A** 津幡町まち・ひと・しごと総合戦略で示している。
- Q** 金沢市との境における発展策は。
- A** 金沢市・津幡町行政連絡会で対応する。
- Q** 温水プールを漕艇競技場に隣接させよ。
- A** 現在のところ適地とは考えていない。

# ん質問



森川 章 議員

## 地域福祉

地域のマンパワーを  
活用せよ

環境整備を進めている

森川 議員

障害者や子どもに対する地域包括ケアシステムの支援拡大のために、どのように取り組むのか。そのためには、地域におけるマンパワーの積極的な活用が欠かせないと思うが、その考えはあるか。

岡田 町民福祉部長

総合相談窓口を社会福祉課内に設置し、それぞれの担当課を横断した相談体制を整備している。将来的には、子どもから高齢者等を含め、すべての方を対象とする地域包括ケアシステムの構築に取り組みたい。

また、住み慣れた地域で安心して暮らせるようマンパワーを活用できる環境整備を進めている。



▲親子サロンで楽しいひとときを

## 交流人口の見込みは

年間22万人を見込んでいる

## 公園整備

森川 議員

体験型観光交流公園の整備によって得られる交流人口と経済効果について、どの程度見込んでいるのか。産業振興のため、この公園に民間活力を取り入れる考えはあるか。



▲体験型観光交流公園予定地

矢田 町長

基本計画では、県内外からの利用者も想定し、年間22万人の交流人口を見込む。経済効果については、第1期完了後に年間約600万円のマイナスを見込むが、第2期完了時には年間約2500万円のプラスに転じ、第3期完了後には4000万円余りのプラスと試算している。

公園管理全体については公共施設等管理公社を想定しているが、個別には民間事業者のノウハウの活用も有効だと考えている。

### その他の質問

**Q** 津幡丘陵公園予定地の利用計画は。

**A** 優位な条件が整えば、用地の利活用もあわせ検討したい。





森山時夫 議員

# ズバリ 町政を問う

# いっば

現在、10路線運行されているが、時間帯、路線によって乗降者数の多寡にばらつきが見られる。福祉バスの運休日に、その代替として町営バスの運行を新設するなど、高齢者をはじめ外出弱者のニーズに応えた見直しを図れ。

森山 議員

## 町営バス

## 外出弱者の ニーズに応えよ

継続的に調査、研究する



◀利便性のあるバスの運行を

新たな町営バス路線が増えれば運行経費が増加するため、運賃収入などとの収支バランスについて検証する必要がある。現時点では困難である。しかし、交通弱者の実情やニーズを考慮したバスの運行が基本であり、路線再編も含め、継続的に調査、研究したい。

太田 産業建設部長

## つばた Reco

## 利用者、車の安全対策を図れ

## 駐車場でのマナー向上に努めたい

森山 議員

役場駐車場内に設置されたリサイクルステーションつばたRecoには、開設以来多くの方が資源ごみを持ち込み、好評である。

しかし、駐車場内であるため、施設利用の車両と歩行者が混在し危険だ。駐車場所を指定するなど、利用者の安全対策を図れ。

八田 生活環境課長

開設以来、接触事故等のトラブル、苦情については直接聞いていないが、広報などを活用し、利用者の駐車場でのマナー向上に努めたい。

また、役場利用者との共有駐車場であるため施設指定の明示はないが、今後、優先利用の明示ができないか協議、検討したい。



▲求められる安全対策

### その他の質問

**Q** イノシシの被害防止策をさらに図れ。

**A** 防護柵の設置や捕獲技術の向上など、被害が少なくなるよう取り組む。

# ん質問



酒井 義光 議員

## 早期に開通させ 有効活用を

地元の協力を得ながら  
早期完成を目指す

### 交通網整備

#### 酒井 議員

町道庄能瀬線、菩提寺1号線は整備開始から長期間経過しているが、いまだに完成していない。交通網を充実させ、急カーブを解消し、安全を図ることを目的に整備が続けられているが、工事が遅れるほど多額の投資が必要となる。工期を短縮して早期の開通を図り、有効に活用せよ。



◀早期整備を  
(町道庄能瀬線)

#### 矢田 町長

庄能瀬線は地盤改良工事が完了し、河北縦断道路の建設発生土を再利用して路体盛土を行っている。菩提寺1号線は全長1600mの整備となるが、工事未了の500mの区間で地形的な制約などによりコストが高くなる区間が存在している。今後とも地元の協力を得ながら、早期完成に向け事業を進める。

## 災害避難対策

標高を明記した防災地図の  
作成を推進せよ

地域の防災マップ作成の  
啓発を図りたい

#### 酒井 議員

豪雨などによる浸水災害に備えるためには、あらかじめ土地の高低を把握しておくことが必要である。避難時に役立てるため地域で話し合い、ハザードマップを作成することを町は推進せよ。

#### 矢田 町長

地域の防災マップ作成事業を通じた危険箇所の把握、一次避難場所と避難経路の事前決定によって、地域での連携が進み「自分たちの地域は自分たちで守る」という共通認識につながることを期待している。この事業が多く の地区で活用されるよう、作成に向け自主防災組織や集落に啓発を図りたい。



▲地域で進む防災マップの作成 (能瀬区)





井上新太郎 議員

# ズバリ 町政を問う

# いっば

## 町営住宅

過疎化が激しい  
山間地域に建設を

入居希望者が少なく  
新たな建設予定はない

井上 議員

平成27年の国勢調査によれば、当町では42人の人口増加であったが、依然として人口減少への不安は払拭されていない。

減少傾向に歯止めをかけ、将来への希望と発展をもたらすためには、こゝとさら過疎化が激しい山間地域に町営住宅団地を建設すべきだ。



山間地域の有効活用を

矢田 町長

公営住宅法によると、町営住宅の目的は、低額所得者に対し廉価で住宅を賃貸・転貸することによって、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することであり、過疎対策の手段ではない。

過疎対策の必要性は認識しているが、現在、入居希望者が少なく、管理戸数も妥当であると考えられているため、新たに建設する予定はない。

## 町民参加による 誘致を推進せよ

みんなで参加する  
誘致推進策を展開する

## 大河ドラマ



▲みんなで盛り上げよう!

井上 議員

未決定である平成30年以降のNHK大河ドラマ誘致に向け、広域連携推進会議における取り組みと、当町が果たすべき役割は。

また、誘致実現の機運を高めるためにも、積極的な町民参加を推進せよ。

矢田 町長

6県34市町が参加する広域連携推進会議では、これまでにNHKへの要望活動や講演会、シンポジウムなどの開催を通じ、誘致活動を実施してきた。平成28年度は新たな取り組みとして、町民から出演者やスタッフを募って劇団を設立し、「義仲と巴」をテーマとした演劇を上演する予定である。みんなで参加し、地元でつくるという機運の上昇が図られればと考えている。

# ん質問



角井外喜雄 議員

## 居宅介護

介護保険事業の  
進展を図れ

各種の施策を

着実に推進する

角井 議員

国では、団塊の世代が75歳になる2025年までに地域包括ケアシステムを全国で実施する方針となっている。

町は第6期介護保険事業計画で、介護状態になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続できる環境を整備する計画を進めている。

町としてモデルケースを作成し、制度の周知徹底を図れ。

岡田 町民福祉部長

当町では、地域包括ケアシステムを構築するための重要な介護サービスとして、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が平成25年6月からJA石川かほくで開始された。現在5か所の訪問看護事業所と連携し、昼夜を通じてサービスを実施している。

介護相談時や新規に認定を受けた方などへパンフレットの配付や各地区での地域活動を通じて、一層の制度の周知に努める。



▶住み慣れた地域で  
安心生活を

## 新たな道の駅を 開設せよ

現施設の充実を  
図っていく

## 地域活性化

角井 議員

俱利伽羅塾は、整備が予定される体験型観光交流公園と隣接していることから、宿泊施設としてより充実した機能を備えて運営することが望ましいと考える。

今後、国道8号付近で新たな道の駅を開設し、観光情報、魅力の発信、町の認定ブランド品のPRなど、町活性化の拠点とせよ。

太田 産業建設部長

体験型観光交流公園を中心に新駅の設置など、俱利伽羅塾を含めた形で地域活性化に向けた活力創出に中長期的に取り組んでおり、俱利伽羅源平の郷の施設充実を図っていく。

今後とも国道8号の4車線化の動向や沿線における地域情勢の変化を注視していく。



▲より充実した施設に（俱利伽羅塾）





荒井 克 議員

# ズバリ 町政を問う

# いっば

## 今後の整備計画は

具体的な計画はない

### 津幡丘陵公園

荒井 議員

第4次町総合計画では、津幡丘陵公園を文化会館シグナスと連携し、すべての町民が楽しめる緑豊かな拠点の公園とするとあった。

第5次町総合計画ではどのように取り組んでいくのか、整備計画を示せ。

◀憩いの場となる公園に  
(津幡丘陵公園予定地)



矢田 町長

津幡丘陵公園の利用については、抜本的な構想の見直しが必要と考えている。第5次町総合計画には具体的な整備計画は盛り込まれていないが、里山の保全を主体とし、自然が豊かで町民の憩いの場となる公園にしたいと考えている。

現在、有効活用の一環として暫定利用であるが、パークゴルフ競技が可能となるよう町パークゴルフ協会と緑地の管理協定を交わしている。

## まちづくり

### 第5次町総合計画に 町民アンケート結果を生かせ

優先度の高いものに取り組み

荒井 議員

第5次町総合計画における町民アンケート結果が発表された。

第5次町総合計画における町民アンケート結果が発表された。町に対する好感度は90%であるが、商工業施設が少なく、買い物や就労の場が少ないとの回答が多い。

長 総務部長

町民アンケートの結果これまでの施策の成果が一定程度評価されたと考えている。一方で、満足度が低く、優先度が高いとされた施策は優先的に改善すべきものと位置付けている。

企業誘致、創業支援、経営支援の推進により、就業場所の確保に努め、若者の意見にこたえていきたい。



▲アンケート結果を生かしたまちづくりを

### その他の質問

Q 今後の人口増加対策の拡充を。

A 企業誘致などを積極的に進めたい。

# ん質問



八十嶋孝司 議員

## 情報収集

### 小型無人飛行機 ドローンの導入を

検討課題もあり  
さらに調査を進めたい

八十嶋 議員

ドローンの活用は災害時に被災状況の早期把握や空撮による観光資源のPR、さらに文化財や公共施設の屋上点検に利点がある。

早期の情報収集や町の発信力強化のためにも、これら3点に特化し、導入を検討せよ。

矢田 町長

平成27年、ドローンの導入に関し、あまりにデメリットが大ききことから導入を見送った経緯がある。

国・県の動向、利活用の情報収集を行い、安全性やプライバシーへの配慮も含め、導入に向けてさらに調査、検討を進めたい。



▲空からの魅力発信

## 災害対策用として 検討せよ

### 災害用蓄電池

調査、研究をしたい

八十嶋 議員

東日本大震災で被災者が困ったこととして、携帯電話などの電池切れがあったと報告されている。民間会社がこの教訓を生かし、水や海水を入れるだけで発電する電池を開発した。

今後、災害時の備蓄用電源用途として自治体の関心も高まると予想される。町として情報収集に努め、導入を検討せよ。

長 総務部長

当町では、避難所における自家発電機の確保のため、リース会社との災害協定の締結を行ったほか、平成26年に更新した自主防災クラブの発電機により電源の確保を行うこととしている。

災害対策用蓄電池の導入は、現在のところ相当高額であることから市場価格の推移を見極めながら、備蓄品に加えることができないか調査、研究をしたい。



▲災害に備えた蓄電池を





竹内 竜也 議員

# ズバリ 町政を問う

# いっぱ

小学6年生と中学3年生を対象に、全国学力テストが実施されている。事前対策として過去問による回答練習や補習の実施が考えられるが、対策が過剰なものとなれば本来の調査目的がゆがめられる。また、教科の進度に影響を及ぼすのではないか。当町ではどの程度行われているのか。

## 竹内 議員

## 学力テスト

### 事前対策が行われているのでは

### 特別な観点からは行っていない

事前対策として特別な観点からの過去問取り組みや補習は行っていない。各学年で習得すべき学力の定着状況を把握するために、定期テストや授業での演習問題、朝学習や宿題に過去問を活用している。教科の進捗は、毎学期の教育課程実施調査によって授業時数や進度などを確認している。

## 早川 教育長



真剣に学ぶ中学生

## 差別解消

### 職員対応要領を策定せよ

### 県の要領を踏まえ検討する

## 竹内 議員

平成28年4月1日から障害者差別解消法が施行される。障害者から社会的障壁の除去を求める意思表示がある場合、合理的配慮を行うことが町には義務付けられるが、これに備

えた職員対応要領を策定せよ。

また、差別解消への取り組みを協議する組織として期待される障害者差別解消支援地域協議会に対する認識と、設置の見通しはあるか。

## 矢田 町長

県が策定する県職員対応要領の内容を踏まえ、町の職員対応要領策定を検討したい。

地域協議会を組織する場合は必ずしも条例を根拠とする必要はなく、名称も障害者差別解消支援地域協議会を用いる必要はない。

当町では、必要があれば既存の障害者地域自立支援協議会の組織を活用し、構成員を考慮しながら検討していきたい。



わかりやすい版

この法律は、障害のある人への差別をなくすことで、障害のある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指しています。

このリーフレットは、誰にでもわかりやすくなるよう、図やイラストなどを用いて、読みやすいように作られています。

# ズバリ 町政を問う



道下政博 議員

## 無線LAN

街中と観光拠点に  
設置せよ

災害対策とあわせて  
検討する

道下 議員

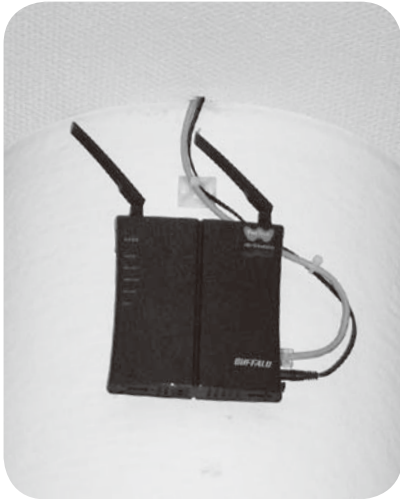
今日では携帯電話、スマートフォンは生活必需品である。

大河ドラマの実現を見越して、スマホやタブレットが利用できる地域を拡大するために、街中と観光拠点を中心に公衆無線LAN（Wi-Fi）の早めの整備が必要と考

矢田 町長

当町の街中では文化会館、観光拠点では俱利伽羅塾と森林公園内のわくわく森林ハウスの計3か所に整備されている。

これらの強化・充実とあわせ、災害対策として災害時の通信手段の確保も含めた公衆無線LANの総合的な整備に向けて、具体的財源も含めた検討を進めたい。



▲設置されている無線LAN  
(文化会館シグナス)

## 個別事業のフルコスト 情報開示を

現段階では困難である

## 財政効率化

道下 議員

国では、人件費や物品購入費などを含めた全体のフルコストを把握した上で、人口一人当たり、利用者一人当たり、業務一日当たりといった単位当たりも算出し、試行的に国の個別事業単位での開示が初めて行われた。当町でも行政の透明性を高め、効率化を進める観点から個別事業のフルコスト情報の開示を求め



▲詳しくはホームページで

矢田 町長

当町で作成・公表している基準モデルの財務諸表は、町全体のフルコストであり、個別の施設や事業ごとにはなっていない。現段階ではすべての事業の正確な情報を作成することは困難である。公共施設等管理計画において個別施設カルテを策定する予定で、これを利用して施設のトータルコスト算出が可能か検討したい。

### その他の質問

- Q** 日本版ネウボラの推進で子育て支援制度の充実を。
- A** 津幡版ネウボラ「子育て世代包括支援システム」の構築に取り組む。
- Q** 献血への若者参加を増やす取り組みを。
- A** 広報活動の継続と情報提供を図っていく。
- Q** 自殺者対策の充実を。
- A** きめ細かに対応していく。



# 歩く道紀行100選の

## 看板を設置



▲浅谷に向かうウォーキングコース

○案内看板設置工事費

52万円

新歩く道紀行100選に選出されたIR津幡駅から浅谷地区を経由した新幹線の見える丘公園までのウォーキングコースに案内板や誘導看板を設置する。

1月15日に1月会議を開催し、一般会計補正予算、条例制定、町道認定の議案3件が上程された。議案は、各常任委員会審議を経て可決した。

○駐車場整備工事費

300万円

文化会館近隣の土地を無償貸借する申し出を受け、駐車場として整備する。

○パトロール車購入費

58万円

不法投棄巡回パトロール実施車故障による代替車購入費用などを増額する。

津幡ふるさと歴史館条例の制定

設置理由、名称、愛称及び位置、付属施設、事業が明記された。

(全員賛成)

町道路線の認定

○横浜35号線

(横浜へ52番12地先から横浜へ56番1地先まで)

延長130・1m  
幅員7・4から

11・8m  
(全員賛成)



広報

i 広報紙

# スマホ・タブレットで 議会だよりを



平成28年4月から、スマートフォンやタブレット端末で「広報つばた」や「つばた議会だより」を読むことができるようになりました。

このアプリでは広報紙を読むことができるほか、ホームページの最新情報を見ることや、利用者の関心にあわせてカテゴリに分けること、気になる記事を切り抜いてSNSで共有することなどができます。

利用は無料です。App StoreまたはGoogle Playから「i 広報紙」を検索してダウンロードしてください。

議会の会議録は  
町議会ホームページで  
みることができます。

## 議会を傍聴しましょう

○町政一般質問は、年4回(3月、6月、9月、12月)行われます。

お問い合わせは、議会事務局 (Tel.288-6410)



津幡町HP携帯版

# みんなで楽しくやってみま〜す!!

## サークル紹介第26回

## コールあじさい

七色にかがやいて!!!



紫陽花の咲く季節に誕生。歌の大好きな仲間が集い、小泉恭代先生の優しく情熱あふれるご指導のもと、美しいハーモニーを求め続けて40年。今、ここまで温かく支えてくださったすべての方々に感謝し、音楽の素晴らしさと歌うことの喜びを多くのの方々にお届けしたい!!という気持ちです。

代表 **中村 博子**  
なかむら ひろこ

来る5月8日(日)シグナスにて「コールあじさい40周年記念コンサート」を開催いたします。

小さな花一つ一つが寄り添い、大きな花となる紫陽花。心一つに美しいハーモニーが奏でられるよう団員一同練習に励んでいます。

今回は津幡町出身のメゾソプラノ小泉詠子さんをお迎えし、シグナス少年少女合唱団の賛助出演もあります。

当日は皆さま方とともに、楽しいひとときを過ごせたらと願っております。

◆練習場所と時間  
☆福祉センター  
毎週月曜日  
20時〜21時30分

◆連絡先  
☎090-9052  
1775(中村)

4/29

840鉢

無料配布

農民みどりの祭典で  
ゴーヤ・  
ヒョウタン苗など

4月29日に県森林公園緑化の広場で行われる「県民みどりの祭典」で町議会県森林公園活性化対策特別委員会は、千成・大ヒョウタンのほか、ゴーヤ、サルビア、ペゴニアなど合計840鉢を10時30分から配布します。ぜひご来場ください。

### 表紙の題字は

津幡中学校1年(津幡小学校卒)

川岸 優希さんの作品です。

津幡町は、自然豊かで、新幹線の見える丘など、よいスポットがたくさんあります。こんな津幡町が私のお気に入りです。



## ディスカバー つばた⑮

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

### 〜倉見鉱泉(倉見)〜

ウエルピア倉見は、1874(明治7)年に開湯した倉見鉱泉を利用しています。



ウエルピア倉見敷地内の駐車場脇にある源泉の傍らには小さな祠があります。同施設の裏山にある専修庵をさらに山あいに入ったところで旗を切られ、重傷を負った平家の落人が平地に下り、この源泉の辺りで死んだと言われていています。その落人の血によって源泉が赤黒く染まったと伝えられています。

### あとがき

議会だよりの全国コンクールの発表があり、当町議会だよりは賞に至らず残念な結果となる。今後には生かすために検証も必要である。

- 編集委員長 塩谷 道子  
副委員長 荒井 克  
委員 竹内 竜也  
井上新太郎  
八十嶋孝司  
森山 時夫